

[・] マガジン (アイ・アイ マガジン 略してアイマガ!) 第6号

配信日 2006.11.27

今月は11月、今回は最終週となってしまいました。そろそろ師走を感じることも、紅葉の次は忘年会の話題が聞こえてきそうですね。

このメールマガジンはインターナショナル・インターフェイスとお取引のあるお客様、登録翻訳者、名刺交換をさせて頂いた方にお送りしています。

今後ご不要の方は大変お手数ですがinfo@i-interface.comまでお知らせ頂けますようお願い致します。

なお皆様の個人情報には弊社が責任をもって厳重に管理いたしております。

【もくじ】

<1> コーディネーターとして 後編

<2> F1鈴鹿GP

<3> 私は***のチャンピオンです!

<1>8月号では、お客様とのコミュニケーションの重要性について書きましたが、今回は翻訳者とのコミュニケーションについて書きたいと思います。

お客様からの正式発注後、(場合によって前後はありますが)担当する翻訳者の方を決め、対応可能かどうかのスケジュールの確認をするといった、手配の段階になります。

案件依頼時のメールでは、なるべく簡潔に依頼事項や要望を伝えるようにしています。翻訳者の方は、翻訳に集中している最中に新規案件を受けるか否かの判断を強いられるわけですから、【お伺い】メールでは迅速に案件内容を理解し、判断いただけるよう、心がけています。

ただ、そんな中でも簡素になりすぎるのではなく、季節の挨拶を入れてみるなど柔らかいメールイメージを心がけています。翻訳者の方は在宅で一人パソコンに向かって仕事をされている方が多く、仕事が詰まっているときは外に出かける余裕もないこともあるかと思えます。少しでも気分転換のお手伝いことができ、気持ちよくお仕事をお受けいただければと思います。

親しい翻訳者の方とは共通の興味でメールが盛り上がりすぎてしまうこともあり、業務の合間の和みを頂いております。日本だけではなく世界中にいる翻訳者の方から東京とは違った季節の移り変わりや、日常の出来事をお知らせいただくことも嬉しくなり、ちょっとしたメールのやり取りから趣味や興味が見え、得意としている分野だけではなく、こちらもお願ひできるのでは、といった後の翻訳依頼時の参考になることもあります。

翻訳者の方の協力無しでは、翻訳会社は成り立ちません。これからも、翻訳者の方に信頼していただき、身近に感じていただけるコーディネーターを目指して行きたいと思ひます。

<2>F1

これは完全に個人的な趣味の話になります(3月のメルマガにも書きました)が、F1が大好きなので。1998年に初めて生でF1を観戦して以来虜になってしまいました。生で見る醍醐味はやはりあのエンジン音(エグゾーストノート)です。時速300*₀で走っていくマシンを見るのは爽快です。ということで、今年もF1鈴鹿GP(10月8日)に行ってきました。

今年の鈴鹿は、F1開催が最後になるかもしれない、ミハエル・シューマッハの日本でのラストラン、首位争い、そして我らがオールジャパンチームSAF1初参戦ということで、初日からものすごい人出でした。これを予測し、去年は大阪の伯母宅に宿泊しましたが、今年は名古屋発着バスツアーを利用しました。吉と出たか凶とでたかは後ほど。。。



一年に一度のお祭り、気合入ってます。



各チームのブースも盛り上がってます。

結果は、ミハエルの予想外のエンジンブロー(スクリーンで白煙を上げる羽馬を見たときは呆然とし、泣いているファンもチラホラ)により、アロンソが優勝。年間首位争いで大きくリードしました。応援しているSAF1、佐藤琢磨は予選こそ振るわなかったものの、決勝では18台完走中15位と健闘しました。大したことないやん、と思われる順位ですが、誕生したばかりのチームSAF1にとって最下位ではないということだけでも素晴らしいことなのです(力説)!



シューマッハ金曜日のフリー走行(豆粒大なのですが・・・)

鈴鹿を満喫し、秋の日差しを甘く見て日焼け止めを持たずに半袖で行ってしまった私は見事に右腕を焼き、秋なのに皮が一枚むけてしまいました。後悔いっぱい未だ黒い腕を眺めつつ、染みが残らないように願う毎日です。

シーズンはアロンソが2年連続年間チャンピオンとなり、最終戦ブラジルではミハエルが素晴らしい走りを見せ、トラブルで優勝は逃しましたが、皇帝ミハエルここに在り！といった最後でした。

話は戻って、快適だったバスツアー、最終日の帰りに運転手さんが道を間違えたのと渋滞に巻き込まれたので名古屋着がヒヤヒヤの最終新幹線発ギリギリ着。指定席が売り切れていましたが、自由席に何とか席を確保し、深い眠りにつきました。来年は富士スピードウェイ、チケット情報が出始めたようなので早速チェックです。

<3> 社員に聞きました:私は***のチャンピオンです！

《浜田菜子:マネージャー》私は「たい焼き大食い」のチャンピオンです！

13個食べたことがあります。世の中にはもっと食べたことある人がたくさんいるでしょうけどね。

《森本尚子:翻訳コーディネーター》私は「変顔」のチャンピオンです！

小さい頃、よく父と変顔を競っていました。今でもたまにやっと思い失笑をかうことが。。

《佐藤光代:品質コーディネーター》私は「バッグ集め」のチャンピオンです！

大学時代よりバッグ好きに火がつき、集めたバッグは25個。目指せ年齢と同じ数！

《廣瀬紀彦:社長》私は「長崎のチャンピオン」です！

ちくわ、キャベツ、にんじん、もやし、豚肉、いか、エビ、かまぼこ、あさり、さやいんげん、ねぎ、きくらげ、たけのこ、、、いろいろ入ってます。

【編集後記】(担当:森本)

廣瀬のギャグは高度なので、いつも理解に困ってしまいます。。。どなたか分かる方助けてください～！

発行元:株式会社 インターナショナル・インターフェイス

ホームページ: <http://www.i-interface.com>

配信停止のご連絡:佐藤:info@i-interface.com



このメルマガがお気に召しましたら、社内社外を問いませんので、気兼ねなさらずに転送してください！